HONDA

News Release

2026 年 11 月 3 日

＜EICMA 2026＞
Honda 初のハイエンド電動アシストマウンテンバイク「Honda RN0」を世界初公開
～二輪車開発で培ったノウハウと最新 e-MTB 技術を融合し、新たなライディング体験を提供～

Honda は、Honda で初となるハイエンド電動アシストマウンテンバイク（e-MTB）「Honda RN0（ホンダ アールエヌゼロ）」をイタリア・ミラノで開催されている EICMA 2026（ミラノショー、プレスデー：11 月 3～4 日、一般公開：11 月 5～8 日）で世界初公開しました。



電動アシストマウンテンバイク「Honda RN0」

ドイツのハイエンド e-MTB メーカーである ROTWILD（ロットワイルド）との共同開発によって誕生した Honda RN0 は、Honda が長年培ってきた二輪車開発ノウハウと、欧州を中心に進化を続ける e-MTB の最新技術を融合した新しいマウンテンバイクです。約 24kg の軽量な車体には、独自開発のカーボンモノコックフレームとガルアーム式スイングアームを採用。安定性の高いフレームと先進制御による電動アシストユニットを組み合わせることで、次世代の e-MTB にふさわしい FUN ライドを提供します。さらに、高いペダリング効率と優れた路面追従性を両立し、テクニカルなトレイルからロングライドまで幅広いシーンで高い走行性能を発揮します。

【Honda RN0 の主な特長】

■グランドコンセプト

Honda RN0 のコンセプトは「New Terrain, Same Dream.」です。「New Terrain※1」は、Honda にとって初となるプレミアム e-MTB 市場への挑戦と、新たなフィールドへの進出を意味しています。「Same Dream」は、製品カテゴリーや活躍する舞台が変わっても、人々の可能性を広げ、操る喜びや探究心、挑戦する楽しさを提供し続けたいという Honda の変わらぬ思いを表現しています。

■ネーミングコンセプト

Honda は、2000 年代にマウンテンバイクの研究・開発に取り組み、2005 年には「RN01」で UCI※2 マウンテンバイク・ダウンヒルワールドカップのシリーズ総合優勝を果たしました。その後、新たなマウンテンバイクを市場に投入することはありませんでしたが、研究・開発を通じて培われたマウンテンバイクへの思いは受け継がれてきました。今回、その思いを新たなモデルへつなぎ、自然との一体感を表す「Ride Natural」と、新たな高みを目指す「Reach New Peaks」の意味を込め、「Honda RN0」と名付けました。

■モーターサイクル由来の車体構造

Honda RN0 の最大の特長は、Honda 独自のカーボンモノコックフレームとガルアーム式スイングアームです。ヘッドチューブからリアアクスルまでを効率的にレイアウトする
ことで、高い剛性と優れた路面フィードバックを実現。ライダーは路面状況を直感的に把握でき、さまざまな地形で高い安定性とコントロール性能を得ることができます。
カーボンモノコックフレームとガルアーム式スイングアームの組み合わせは、モーターサイクル譲りの高剛性で抜群の直進安定性を実現するとともに、計算された“しなり”によりフレームをわずかにたわませ、旋回時のタイヤの路面追従性を高めています。

■オールマウンテンライディングに適したディメンション

フレームサイズはライダーの体格に合わせ S、M、L の 3 サイズを展開しています。各サイズの専用ディメンションには、ROTWILD がマウンテンバイク開発で培ってきた知見を取り入れ、オールマウンテンライディングに求められる登坂から下りまで幅広い走行シーンに適した設定としました。リアサスペンションはシングルピボットスイングアームにリンケージを組み合わせた構造を採用し、ペダリング時の不要なサスペンションの動きを抑えながら、路面からの衝撃にはしなやかに追従することで、ペダリング効率と衝撃吸収性能の両立を図っています。

■カラーリング

フレームカラーは、PEARL MOON ASH GRAY（パール ムーン アッシュ グレー）と MAT BALLISTIC BLACK METALLIC（マット バリスティック ブラック メタリック）の 2 トーンカラーを設定。自然豊かなアウトドアシーンの中でも際立つ、プレミアムな存在感を表現しています。

■プレミアムシャシーパッケージ

Honda RN0 には、業界トップクラスのコンポーネントを採用しています。フロントサスペンションには 160mm ストロークの FOX 36 FLOAT Factory Kashima フォーク、リアサスペンションには FOX FLOAT X Factory Kashima ショックを装備。前後ホイールセットには e-MTB 向けに設計された DT Swiss H1900 SPLINE を採用し、フロント 29 インチ、リア 27.5 インチのマレットレイアウト※3 によって、安定性と俊敏性を高次元で両立しています。

さらに、Schwalbe Albert EVO Trail タイヤと SHIMANO DEORE XT 4 ピストンディスクブレーキを組み合わせることで、あらゆる路面状況において優れたグリップ性能と制動性能を発揮します。

■新世代 SHIMANO ドライブシステム

Honda RN0 は、新型 SHIMANO ドライブユニットを搭載しています。2.3kg の軽量ユニットながら、最大トルク：100Nm、最大出力：750W、バッテリー容量：720Wh を実現し、急勾配の登坂から高速トレイルまで幅広いシーンで力強いアシストを提供します。

AUTO ASSIST 機能により路面勾配やライダーのペダルを漕ぐ力に応じて最適なアシスト量を自動調整。AUTO SHIFT 機能は、理想的なケイデンス※4 を維持するよう自動変速を行い、ライダーが走りに集中できる環境を提供します。さらに、アシストキャリーオーバー機能により、ペダリングを一時的に止めた際にも駆動力を滑らかに維持し、障害物通過時などの走行をサポートします。

■ユーザーインターフェース

トップチューブには 2.2 インチのフルカラーディスプレイを内蔵。車速や航続距離、アシストモードなどの情報を見やすく表示するとともに、USB-C ポートを介したデバイス充電にも対応しています。また、SHIMANO アプリと連携することで、SHIMANO ドライブユニットのチューニングに加え、車両電子システムのロック／アンロック機能も利用できます。

Honda は創業以来、自転車に補助エンジンを組み合わせた「ホンダ A 型」をはじめ、電動アシスト自転車「ホンダ ラクーン」シリーズ、ダウンヒル競技専用マウンテンバイク「RN01」など、さまざまな製品・技術を作り出し、人々の移動と挑戦を支えてきました。Honda RN0 は、そうした歴史の延長線上にある新たなチャレンジです。

Honda は、2050 年に Honda の関わる全ての製品と企業活動を通じたカーボンニュートラルの実現を目指しており、二輪車においても電動化を進めています。今後も、多様化するお客様のニーズに応えるモビリティを通じて「自由な移動の喜び」をより多くの人々へ提供するとともに、カーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。



電動アシストマウンテンバイク「Honda RN0」

※1 「Terrain」は、「フィールド」や「分野」を意味する
※2 世界の自転車競技を統括する Union Cycliste Internationale（国際自転車競技連合）の略称
※3 フロントとリアで異なるサイズのホイールをセットアップしたバイク
※4 1 分間にペダルを回す速さ